

次月活動予定

5 月

- 2 日 昭和大学付属烏山病院プログラム見学
6 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
9 日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
10 日 男性施設合同田植え 榛名女子学園プログラム 岡本台病院プログラム
12 日 宇都宮保護観察プログラム 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
13 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
14 日 家族教室 再乱用防止教育事業県央
16 日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
20 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
23 日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
26 日 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
27 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 宇都宮保護観察プログラム
30 日 東京保護観察所プログラム

6 月

- 2 日 岡本台病院内プログラム
3 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 更生保護施設プログラム
6 日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
9 日 宇都宮保護観察プログラム 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
10 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
11 日 家族教室 再乱用防止教育事業県央
13 日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
15 日 栃木 DARC・岡本台病院連絡会
17 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
23 日 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
24 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 宇都宮保護観察プログラム
26 日 家族会
27 日 東京保護観察所プログラム

発行所

郵便番号一五七—〇〇七三 東京都世田谷区砧六—二六—二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価 100 円

編集 特定非営利活動法人栃木DARC
〒320-0014
栃木県宇都宮市大曾 2-2-14 形松ビル 3F
TEL 028-650-5582 FAX 650-5597

URL <http://www.t-darc.com> Eメール:nesm@t-darc.com

SSKO

栃木ダルク
ニュースレター 第 156 号(2016, 4,11)

Grow up!!

Drug Addiction Rehabilitation Center
DARC

新年度のご挨拶にかえて

特定非営利活動法人 栃木 DARC
代表理事 栗坪千明

気候も暖かくなり、宇都宮本部近くの八幡山公園の桜の花も満開となり、ますます春めいてきた今日この頃、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

4 月は出会いと別れ、事業の始まりと終わりが同時にやってくる季節です。関係機関の方々も多くの方が異動となり、寂しい限りです。また新担当者はどんな方なのか楽しみでもあります。

施設事業も昨年は堪えどきといった感じでしょうか、これまでの事業の継続をしつつ、経費削減や組織改編など内部問題に取り組んできた一年でした。私の口もずっと酸っぱくなってましたね。おかげで税金が払えるくらい削減することができたと思います（笑）。

さて今年度は新規事業が幾つかあります。薬物依存の回復支援としては今年 6 月から「刑の一部執行猶予制度」が施行になります。それに伴い多くの回復支援施設が様々な準備をしていることと思います。この制度は薬物依存回復支援の一つの転換期となり、影響も大きく、回復支援のあり方も変化していくことでしょう。

ニーズも高くなることから栃木ダルクではこれまでの那須 TC を 1st Stage Center、県南に新規施設を開設し 2nd Stage Center、宇都宮 OP を 3rd Stage Center として Stage ごとの施設に分けてプログラムを展開していきます。

それから短期集中プログラムを開始します。これは事情により、長期間の入寮が叶わない方用に 2 ヶ月間でプログラムを終了するというものです。本来は 1 2 ヶ月で行うものを 2 ヶ月に凝縮されるわけですから、かなりハードにはなるとは思います。挑戦します。

大きくはこの 2 つですが、これは私も含めた栃木ダルクスタッフも多くの負担となりますが、同時に成長の機会にもなると確信しています。

今年度も皆様の温かいご支援をお願いいたしまして、新年度のご挨拶にかえさせていただきます。

宇都宮 OP

施設長 山口徹

春とはいってもまだまだ冷え込みますが皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

私は、インフルエンザにはかからなかったのですが、久しぶりに風邪をひいてしまいました。

さて、宇都宮 OP の施設長になって 1 年が過ぎようとしています。あっという間に時間が過ぎさっていきました。宇都宮でのスタッフ経験がない私にとっては何かと気づきがあった 1 年でした。まず、就労支援をもっと充実させたいですし、本人が薬物を使った原因のことも本人と話し合っていけたらいいと思います。

就労支援のほうは来年から福祉のほうで作業所などの施設以外に一般就労者に向けての支援などもあるとのことなので年度があけたら話を聞きに行ってみようかと思っています。せっかく就労してもすぐに転職しないでアルバイトから正社員になれるようなところに行けるようにしていきたいです。

薬物を使ってしまった原因も本人との話す機会をまめに行うようにして、自分でその原因を考えてもらって自分自身で課題を出して取り組んでもらうようにしています。せっかく自分自身の色んな問題を出しても、試しても良い施設に来てるのだから、施設に居る間にいろいろな経験をして社会に出て行ってほしいと思っています。それと、自己発信が苦手なメンバーが多いので同好会というものを通して自分が行きたいところに仲間を誘って、予定、企画などを立てて一緒に楽しむことができて栃木 DARC を終了した後でも修了生同士で遊びに行ったりできるように、自己発信が苦手な仲間にはとくに同好会を主催してもらって出かけてもらうようにしています。



今年度も皆様にお世話になりながらなんとかやり通すことができました。来年度もいろいろあると思いますが自分が無理をして潰れないように、僕もみんなと一緒に回復を続けていければと思っています。私自身が潰れてしまったらなんにもならないですからね。

来年度もよろしくお願いいたします。



きょうされんふれあいフェスタ 2016 参加

こちらはボランティア参加で着ぐるみにも入っています！



仲間のバースディの様子



那珂川 CF でのハウスの支柱たての様子です



頭痛に効くクスリ？

依存症のポポ

はじめまして☆依存症のポポですw　那須 TC に来て 4 か月になりますが早速 12Kg 増えましたww　去年の 9 月に覚せい剤で逮捕されて、ダルクにつながりました。

自分は 10 代の頃からバンド活動をしていて音楽で食っていこうと頑張っていました。（今ではすっかり麻婆春雨でご飯を食っていますw）　元々周りで覚せい剤を使っている人に誘われたりしても断っていたのですが、ライブを次の日に控えている時に頭痛と高熱を出してしまいました。それが仕事や友達と遊ぶ約束なら簡単にキャンセルもできましたが、音楽で食っていこうとする人間がたとえどんな理由があろうとライブをキャンセルするなど言語道断です。私は友達に相談した結果「頭痛なんて 30 分で治るよw」と言われその誘いに乗ってしまいました。初めて覚せい剤に手を出した感想は「なんだ、こんなもんかww」っていう感じでした。TV で見るような気持ちよさなんてものは無く、少しガッカリしました。そのまま友達の家で楽器を弾いていたら妙に集中できたのを覚えています。練習嫌いな自分でしたが、その頃組んでいたバンドの練習量はプロと変わりなく一日平均 8 時間で、睡眠時間と仕事の時間以外は練習という生活にウンザリしていたので、覚せい剤の力を借りて得た集中力は自分に足りないものを補ってくれる、いいクスリでした。なんせリズムトレーニングのしすぎで車のウインカー音もメトロノームの音に聞こえてきてイライラする程だったのでw　ちなみに頭痛は本当に「30 分」で治りましたww

一度手を出したらやめられないというキャッチコピーも、警察に捕まるというリスクも見ないフリをして使い続けました。ちょうどメジャーの音楽事務所のスカウトマンが自分のやっているバンドに通ってくれていた時期だった事もあって、練習量の確保や睡眠時間を削るために覚せい剤の使用頻度も増えていきました。中々やってくるチャンスじゃないので焦りもあったんですね～覚せい剤の使用頻度は事務所入りの話が流れた後も減ることはなく（プロになれないなら…）とバンドをやめた後も使い続けました。その後の自分は目標も無く、ただ覚せい剤を使いながらネットに依存した生活を続けていました。25 歳で初めて手を出して、捕まったのが 35 歳。今のところ真面目に書いていますが 28 でバンドをやめてからネットにドブプリ浸かっていたので文末に「wwww」と付けたくてウズウズしていますww　w怒られそうなので自重します。な～んてねww

逮捕されてからの生活はそれまでとは想像もつかないほど一転しました。正直覚せい剤を使えないことよりもネットが使えない環境が一番つらかったです。それは今でも変わりません。変わった事といえば施設にすることで「孤独感」を全く感じなくなった事です。仲間に囲まれている事でネットを使えない状況でもなんとか楽しくやっています。

あと那須TCでは「カホン」という楽器を演奏するプログラムがありますが、28 でバンドをやめてから初めて音楽をやっていてよかったと思えました。カホンが楽しい訳じゃなくて出来なくて困るという事が無いんですよ。「楽でいいな～」と思っていたのですがカホンの作曲を頼まれたのでせっせと楽譜を書いています。楽譜を読むことは出来ても書くことはパソコンですべてやっていたので手書き作業はキツイですね。現役の時も曲は覚えるものだったから書くとしても簡単なコード譜くらいでしたしw　ただ、自分にしか出来ないことで頼られるのは今まであまり経験できなかった事なので頑張って作って達成感を味わいたいと思っています。今のところ覚せい剤を使いたいという欲求も全然無いのですが、自分は覚せい剤を使い始める前から性格や生活の仕方に問題があったと思っているので、覚せい剤の依存症の問題に限らずその辺の問題もこの施設での生活を通して改善できたらいいなと思っています。ちなみにアノニマスネームのポポは見た目がミスターポポだからではありませんよww

更なる回復...旅立ち

伝説の Z

皆様お疲れさまです。ゼットです、今こうしていられるのも仲間のおかげだといっそう思われたのは、ついこないだのようで今までは、フォーラムや NA、ダルクミーティング等色々ありますが、自分がガッツリ来たのはあくまでも、あの日の事でした。今までアルコールも薬物だ、なんて思わなかった自分に、そして施設から出たら飲んでやと思っていた自分が大きく気づかされたのは、母が平成 28 年 1 月 5 日に亡くなっていたのを聞かされた時でした。その日一番手に入りやすいアルコールに欲求が出ましたが、仲間がそばに居てくれたので、飲まずに済みました。それを思い起こせば、アルコールも薬物と同じ、気を高ぶらせたり普通の人と違った行動をとったりするのは、もちろんの事、脳にも影響する事まで同じなので、アルコールも薬物だと認めた自分がいた。そうなると、自分の本命薬物のシンナー以外に、アルコールにも問題があるのでは、と思ってもっと薬物も見直せばと考え直させるのです。今は宇都宮の施設に居ますが、作業所に行かせてもらい、施設のプログラムに参加出来るので、本命薬物やアルコールの事など考えずにすみます。

また薬物を使ってしまったら、迷惑をかけっぱなしで亡くなってしまった母にも申し訳ないし、また更に生き方を変えなくてはならないと自分に喝を入れて頑張っています。もう自分には、怖い物も亡くなった様な気がします。今の自分には、仲間も必要ですがもう使わないと誓って亡くした母の想いも決して忘れてはならない物だと。

そんな自分に今、役に立つ物は何かと言うと分かりませんが、多分今日だけの一日一日なのでしょうね.....それに昔は長続きしなかった仕事も楽しくなっているので、なんか大切な物も見つかった様な気がします。それだけでも今の自分には、十分満足しています。

これからも、作業所を気が済むまで頑張って行き、新たな旅立ちをしたいと思っています、職場では 9 ヶ月ぐらい前まで、お世話になっていた那珂川の施設で教わった事とかも役に立ち、おかげさまで体力にもかなり自身がつく様になりました。このニュースレターが出来る頃は、作業所に出て半年になると思います。でもそろそろ一般就労も考えなくてはならないかなと、真剣に考えさせられる毎日を送っております。しかし今は、作業所 B 型なので、A 型作業所に向かって働いています。（`O`）

そんなこんな、作業所の施設長に A 型に行きたいと話してみると B 型に通いながらでも A 型に行けるらしいので、その考えに賛成しました。作業所 B 型は送迎してもらえませんが作業所 A 型は自力になります。方向おんちの自分には辛いのでまず仲間と一緒に道を覚えています。これからどうなるか分かりませんが、回復と共に頑張っていきます。それだけでも断薬にもつなげられるし一般社会人との交流も深められています。特に今の作業所は B なので楽しくてたまりませんが、その考え方は何かおかしいかなと最近思い始めました、なぜなら仕事は遊びじゃないしちゃんとした自立をしなくてはならないからです。今は体と社会復帰出来る自身がついてきたので、自分がどれだけ必要されるか楽しみです。前科持ちの自分を受け入れてくれる職場にも感謝しています。また違った意味でも薬物を使ってしまうて良かったなあと思う時もありますが、色々な仲間が出来た事や普通の人なら知らない DARC の存在が分かった事等があります！！皆も最初は、嫌な DARC 生活かもしれませんが今の自分には、行く所もなく目指す物も無かったけど今はそうでもなくなりました。今はかえって DARC に来て良かったと思います。暖かく自分を受け入れてくれている仲間や職場に感謝しています。明るい未来が見えて来ました。

そこで左右されずこれからも前向きに頑張っていきます。

変えていく勇気

カオリ

初めまして。依存症のかおりです。私は、病院から、ダルクに繋がりました。覚醒剤で逮捕され、2 年半の受刑生活を送り、刑務所を出てすぐに病院に運ばれ、半年の入院生活を終え、ここに来ました。私は、14 歳の時にシンナーを覚えて、教護院に入り、17 歳の時に、覚醒剤を覚えてしまいました。18 歳で初めての逮捕、25 歳で二度目の逮捕、三度目の逮捕で実刑判決になりました。私が薬物を使った理由は、小さい時からの義父からの虐待の記憶から逃げるために、忘れたいがために、薬を使っていました。これは理由付けをしているかも知れませんが、私にとって薬はなくてはならないものでした。義父からの暴力の記憶は、今でもトラウマになって思い出します。私が、シンナーを吸っている頃、友達は「シンナーをやめてくれ」と涙を流して私に言っていました。なのに私は、シンナーをやめる事が出来ませんでした。毎日毎日、シンナーを吸って、シンナーを買う為にキャバクラで歳を偽って働いて、働いたお金でシンナーを買い、毎日吸っていました。覚醒剤はヤクザに打たれて、シャブ漬けになってしまいました。でも、薬は私をどんどん孤独にしていきました。あぶりを覚えていつも最悪なサイクルにはまっていきました。注射は自分で出来ないのですが、特定の男の人に打ってもらっていました。その人とは、会う度に打ってもらいました。刑務所を出所する直前に、私は、外に出たら酒をすぐに飲もうって考えていたのに、いざ出所の日、救急車に乗せられて酒も飲めず、おかしい考えをしているものだから、静養室に入れられて、とても辛かったです。今の私は、病気の症状が少しおさまリ、薬をやろうとは思っていません。毎日ミーティングを続け、色々なテーマで話をしたり、共感したりしています。自分の問題に直面する事が多々有るのですが、その壁を突破してゆく事が、私の乗りこえなくてはいけない事なのかなと思います。規則正しい生活、集団生活は、苦になる所が多いけれど、人間関係や生き方の壁にぶちあたっても、そういった問題を改善していく事が必要だと思います。変えたいと思うから、私は毎日「変えられないものを受け入れる落ち着き。変えられないものは変えていく勇気を」と祈っています。自分を変えるには、勇気が必要だし、それなりの努力を伴うという事も理解しています。自分との戦いです。私は、これから先、やりたい事や覚えたい事が沢山あります。薬をやっていた時は、先が見えなくて、人生を投げやりにしていました。それに、お金の使い方も荒く、薬がない時は朝から夜まで、お酒を飲んでいました。キャバクラで、お客さんを騙してお金を奪い取り、酒を買ったり薬をやったりしていました。今になって、その人や友人や沢山の人をまきこんできた事を反省しています。全ての人達に、埋め合わせをしなければと考えています。ここに来て、自分と正直に向き合い、生き方を変えてみよう、と、今、日々努力をしています。ダルクに繋がっていなかったら、一体私はどうなっていたのでしょうか。死んでいたかもしれません。私は、心の底から、自分を変えたいと、変わりたいと思っています。そして、仲間のおかげで、色々な考え方に気づいて、そして支えてもらっています。いつか、私も先行く仲間のように、真の回復が出来たら良いなと思います。仲間とともに、依存の回復の為にプログラムもきちんとこなし、仲間とともに、成長してゆけたらと思っています。色々な事情を抱えてくる仲間達の中で、沢山の出来事や考えがありますが、私は、昔の気持ちを切り替えて、新しい考えを受け入れて、沢山の人と向き合えたらなって思っています。ダルクに繋がっている人達、皆さんに、とても感謝しています。沢山の仲間に出会えて共感して、自分の問題に気付かされて、自分が少しずつ、変われていけると信じます。



3月にステップアップした仲間

那須 TC

・モリオ ユキ サポートへ

那珂川 CF

・該当者なし

宇都宮 OP

・該当者なし

PP

・該当者なし

3 月の献金・献品

（献金）匿名者 5 名

（献品）佐竹信哉様、森トク様、他匿名者 1 名様とても助かっております。

栃木ダルクー同感謝しています。

献品をお願い

- ・ 修了者の為の原付バイクがあれば頂きたいです。中古、多少壊れていても結構です。
- ・ 修了予定者(PP,OP)が多数の為。家具、家電(TV、洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ、掃除機、ファンヒーター)、台所用品、茶碗や陶器類等あればよろしくお願いします
- ・ 中古パソコン、中古の乗らなくなった自転車等あれば宜しくお願いします。
- ・ トレーニング器具(ダンベル、バーベル等)、その他の器具、あればよろしくお願いします。

お知らせと一言

- ・ この度皆様をお願いしていた除鉄滅菌器設置献金ですが、大口の献金があり全額集めることができました。つきましては献金をくださった皆様にこの場をかりてお礼を申し上げます。那須 TC 一同とても助かっておりとても感謝しています。ありがとうございました。

生甲斐

アルコール依存症の金太郎

今回、3 度目のニュースレターを書く事になりました。自分に取って書きものは一番の苦手な分野なのです。何を書こうと色々考えた末、このテーマにしました。栃木ダルクに来て、早いもので 4 年 5 ヶ月になります。この 4 年 5 ヶ月の栃木ダルクでのプログラムや栃木ダルクの生活を振り返る事を書いて見ることにしました。自分は栃木ダルクに来たのは平成 24 年 10 月 26 日でした。栃木ダルクに来たきっかけは、千葉県の病院に入院している時に病院の先生からダルクに行かないかと話があり、まあ、精神病院に居るよりはダルクの方がまだマシだろうと思い、鶴の一声で明日行きますと先生に返事をしました。それと病院から出られるということだけでも大喜びでした。そんな、甘い考えでの栃木ダルク（那須トリートメントセンター）の生活が始まりましたが、一日で何だか自分はダルクの施設生活が合わないと思い、次の日に施設長に話をしました。自分には、ここの施設の生活は合いませんので東京に帰らして下さいと相談をしました。そしたら施設長に一週間考えてからまた相談に来いと言われました。しかし、その一週間の間に二人の仲間が出来て施設生活が楽しくなり、施設を出る考えが無くなり、楽しく施設生活が出来る様になりました。その仲間には今も感謝しています。那須トリートメントセンターで 3 か月を過ぎた頃、施設長に呼ばれ話があるからと言われ事務所に行きました。話の内容は施設移動の話でした。那珂川にある、那珂川コミュニティーファームに行かないかとの話でした。那珂川で何をやるのですかと聞くと、土遊びだよと言われました？那須の生活も慣れてきた頃だったので、那珂川に行くことを決断して那珂川に行くと言えました。そして那珂川のプログラムにも慣れ、2 年 6 か月のクリーンを作った頃に人間関係でアルコールを飲んでしまったのです。那珂川の生活では、畑、田圃を行ってれば良いと思っていました。しかし、室内プログラムの 3 ステージ、T-DARRP、アサーティブのプログラムを行っていない事もあって、人間関係の難しさで問題を起こした事で 2 年 6 か月のクリーンを無くしてしまったのです。そして、アウトパシエントで先輩の仲間と東京に帰るか那珂川(CF)に戻るか、後は那須(TC)でやり直すかと聞かれ、半日色々と考えてから答えを出したのは、那須(TC)でやり直すと答えました。那須(TC)でのスタートはステージ 2 からの生活が始まりました。始めの 3 か月は那珂川(CF)での生活の中の行動や仲間との関係を振り返り考えて、自分の欠点や那珂川(CF)での生活、仲間との触れ合い方を考えました。ほとんどが自分自身の反省をすることでした。那須(TC)に来てから始めての役割はサポート業務でした。サポート業務の役割を仲間二人で、約 8 か月を行いました。こんなにサポート業務が大変だとは思いませんでした。気が付くと那須(TC)に来て 1 年が経っていました。楽しい生活が続いていた頃、またもや問題が起きたのです。今度は自分自身の身体の事です。片足が痛くなり、スタッフと病院に行ったら先生の診断の結果を聞くと椎間板ヘルニアと診断され、その日に入院をする事になったのです。H27 年 1 月 7 日に椎間板ヘルニアの手術

をしてから、約 2 か月の入院生活でした。入院生活で嬉しかったのは、那須(TC)の仲間が皆で見舞いに来てくれた事や手術が始まるまで側で元気付けてくれた先ゆく仲間でした。

「本当に感謝しています」そして、退院してから 3 か月後に那珂川(CF)に移動が決まりました。正直、那珂川(CF)に行くのに不安がありました。人間関係の問題、那珂川(CF)の施設プログラムのやり方も 1 年 2 か月も離れていたブランクの不安でした。でも那珂川の仲間は温かく迎えてくれました。早いもので那珂川の施設に来て、11 ヶ月になりました。今年も色々行う作業があり、ハウスの茄子作り、5 月には田圃の苗植え、今年、初めてダルクのメンバーだけで作る茄子を 300 本植え、皆で力を合わせ 10 月までに育て豊作になれば良いと思っています。仲間との関わりの中で、これまでよりももっと責任を担い、もっと中身の濃い役割を果たしたいと思います。明日も畑が待っています。「下手なニュースレターでご免なさい」。

那珂川 CF より 3 月 30 日に修了したトーさんです。

修了おめでとう！！



施設報告

那須 TC（初期・断薬）13 名 宇都宮 OP（後期・社会復帰）14 名
那珂川 CF（中後期・農作業）14 名 ピースフルプレイス（女性）11 名
計 52 名で活動しております。各々の施設でステージ事のプログラムを実施しております。

新しい取り組みにご協力ください

「薬物依存症からの回復を目指すプログラム用テキストを作りたい！」

相も変わらず、有名な元プロ野球選手や議員、学校の先生などが覚醒剤の所持や使用で逮捕されたというニュースが連日のように流れています。テレビやインターネットでは「なんて弱いヤツなんだ」「社会的に成功しているのになぜ？」「覚醒剤の再犯率は65%らしいし、抜け出すのは無理」「昔から交友関係も含めて悪そうだった」「ストレスが多かったんだろうね」など、多くの憶測が飛び交っています。その後について話す人も出てはきましたが、興味本位の延長にある物が多く、情報の確かさも首を捻りたくなるものが並んでいます。

ただメディアでは流されませんが、刑務所でのプログラムは変わってきました。出所後に保護観察所でプログラムを行えるようになってきました。栃木県では、ダルク・更生保護施設・精神科病院・いくつかの公民館などでも薬物依存症から回復を目指す人向けのプログラムが行われています。それぞれに真剣に、出来るだけ良いプログラムになるよう取り組んでいるところです。これからは刑の一部執行猶予制度もスタートします。地域のニーズに合わせて、ますますプログラムは増えていくでしょうし、効果も求められるようになると思います。

そこで今回、様々な場所で共通のテキストを使ってプログラムを行いたいという思いから、クラウドファンディングという仕組みを使って、皆様と一緒に実現したいと考えています。

クラウドファンディングとは？ READYFOR（レディーフォー）とは？

クラウドファンディングとは、群衆（Crowd）と資金調達（Funding）という言葉を組み合わせた造語で、インターネットを通じて不特定多数の人から資金を集める仕組みを指します。READYFOR（レディーフォー）は2011年3月オープンから3,750件以上のプロジェクトの資金調達を行い、152,000人から19億3,000万円以上の支援金を集めている日本で最初の、そして最大のクラウドファンディングサービスです。今回のプロジェクトを実現する為に、READYFORに協力してもらい、企画・編集を重ねてきました。ぜひ一度インターネットでREADYFORのページをご覧ください。栃木DARCのプロジェクト以外にも魅力的なアイデアが沢山あります。団体に向けた寄付という形ではない新たな支援の形を体験してもらえたら、一つ一つの想いを支援して結果として団体と繋がるという感覚を感じていただけたらと思っています。

（インターネット上の、READYFORのページで3月31日から栃木DARCのプロジェクトを見れるようになります）

<https://readyfor.jp/projects/7661>

最後に、まだアディクション問題に関わったことがない人や、薬物依存症は病いで回復が可能であるという発想がない人に、新たに関わってもらいたいという思いから今回のプロジェクトをクラウドファンディングという形で進めてきたのは事実ですが、プロジェクトを実現していくには現段階で理解があり、援助の思いのある皆様の力をお借りするしかないのが実情です。お力添えいただきますよう宜しくお願いします。

また何かわからないことがあれば下記連絡先にお問い合わせください

特定非営利活動法人栃木 DARC アウトリーチ部 部長 栃原晋太郎

TEL028-650-5582